

第9回 海岸シンポジウム

～ 防災の意識と災害の知識が命を守る ～

わが国は、歴史的に幾度となく大津波を経験し、その対策についても世界から先進的であると評価されています。しかし、大規模な津波は数世代に1回しか発生しないことから、実感を持ってその恐ろしさを受け止めている人は少ないのではないのでしょうか。

昨年12月のインド洋大津波は、改めて津波被害の恐ろしさをリアルな映像で教えてくれました。その直後に開催した第8回海岸シンポジウムでは、過去の教訓・経験の伝承、防災情報の活用が提言されました。

今回のシンポジウムでは、前回の議論をさらに発展させ、インド洋大津波の教訓や知見、その後にとられた対策、新たな動き等を踏まえて、「防災の意識と災害の知識が命を守る」をテーマに、わが国の津波対策について総点検いたします。

◆日時 平成17年11月14日(月)

13:30～17:00

◆会場 海運クラブ 2階大ホール

◆次第

13:00 受付開始

13:30 開会挨拶

全国海岸事業促進連合協議会

会長 堀川 清司 (東京大学名誉教授)

13:45 基調講演

「津波被害の減災戦略計画」

河田 恵昭 氏 (京都大学防災研究所長)

(休憩 10分)

15:00 パネルディスカッション

○コーディネーター

山崎 登 氏 (日本放送協会解説委員)

○パネリスト

今村 文彦 氏 (東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター長・教授)

小沢 和夫 氏 (岩手県釜石市長)

小笠原 良 氏 (高知NPO・天然資源活用委員会事務局長)

マリ・クリスティーン 氏 (国連ハビタット親善大使)

17:00 閉会



インド洋大津波における沿岸住居の被害
(スリランカ モラトワ市)

◆参加費：無料

◆会場へのご案内

海運クラブ 2階 大ホール

東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル

TEL 03-3264-1825

・地下鉄有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」

4番・5番出口から徒歩3分

・丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」から徒歩10分



◇主催:全国海岸事業促進連合協議会

◇後援:農林水産省、国土交通省

お問い合わせ・参加申し込み先

海岸シンポジウム事務局 港湾海岸防災協議会

TEL 03-5549-9575 FAX 03-5549-9576

【背景】平成5年北海道南西沖地震(北海道奥尻町青苗地区)